

令和7年度 静岡県における国有林野事業の重点取組事項



ヒノキエリートツリー（コンテナ苗）の植栽地
（大代国有林：静岡署）



国有林土場の活用による委託販売
（瀬尻国有林：天竜署）



原木市売市場における委託販売
（県森連富士事業所伊豆大平中間土場：伊豆署）



北の沢
（川根本町：大井川治山センター）



林野庁 関東森林管理局

静岡森林管理署・天竜森林管理署・伊豆森林管理署

大井川治山センター

静岡県内の国有林の概況

- 静岡県の県土面積約78万haのおよそ3分の2の約50万haが森林であり、そのうちのおよそ2割の約9万haが国有林となっています。静岡県は、気候が温暖で雨量が多いことから、樹木の生長が良好であり、古くから美林の多いところと言われています。
- 県内の国有林は、天竜川、大井川、安倍川、狩野川の各河川上流域、富士山、浜名湖周辺等に広がっており、その多くは地形の急峻な奥山や水源地域に分布しています。このため、その大部分を国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全等を目的とした保安林に指定しているほか、貴重な森林生態系を有している森林については「南アルプス南部光岳（てかりだけ）森林生態系保護地域」、「富士山生物群集保護林」、「八丁池・皮子平（はっちょういけ・かわこだいら）生物群集保護林」等の保護林に指定しています。
- 県内の国有林は、静岡、天竜、伊豆の3森林管理署が以下の方針により管理経営しています。
 - 公益重視の管理経営の一層の推進を図るため、国有林を山地災害防止、水源涵養、自然維持等の重視すべき機能に応じて区分し、公益林として計画的な森林整備等を推進。また国民の安全・安心の確保に向けた治山対策や森林生態系の保護・管理による生物多様性の保全等を推進。
 - 森林・林業施策全体の推進への貢献として、伐採から再生林・保育に至る収支のプラス転換を実現する「新しい林業」の実現に向け、国有林の組織・フィールドを活用した林業の省力化・低コスト化の実証・普及を推進。また、地域の林業・木材産業の活性化に貢献するための木材の安定供給、民有林との連携による効率化・低コスト化を図る一体的な森林整備の推進。
 - 国民の森林（もり）として、「レクリエーションの森」の活用、国民参加の森林づくり、森林環境教育等の推進や国有林に関する情報発信。
- 3署による国有林の管理経営のほか、大井川治山センターを設置し、大井川源流域の民有林において、大規模な崩壊地の復旧を国の直轄事業として行っています。



令和7年度 静岡県内における国有林野事業の重点取組事項

1 公益重視の管理経営の一層の推進

国土保全、水源涵養等の重視すべき機能に応じた管理経営を通じて、地域特有の景観や豊かな生態系の保護・管理等を行います。また、国民の安全・安心を確保するため、自然環境保全等への配慮に努めながら、治山事業による荒廃地の整備や災害復旧等に取り組みます。

- ① 重視すべき機能に応じた管理経営の推進
- ② 国民の安全・安心の確保に向けた治山対策等の推進
※木材利用含む
- ③ 森林生態系の保護・管理

2 森林・林業施策全体の推進への貢献

主伐期を迎える中で伐採、再造林が増加しており、造林のコスト低減、効率的・効果的なシカ被害対策、効率的な木材生産等を通じた林業の採算性の向上に取り組みます。あわせて、地域の林業・木材産業の活性化に貢献するため、木材の安定的・計画的な供給に取り組みます。

- ① 「新しい林業」を目指した取組の推進
※獣害対策含む
- ② 木材の安定供給
- ③ 民有林との一体的な森林整備の推進

3 国民の森林（もり）としての管理経営

開かれた「国民の森林」として、「レクリエーションの森」の活用、国民参加の森林づくり、森林環境教育等の推進や国有林に関する情報受発信等を通じた、森林・林業に関するサービスを提供します。

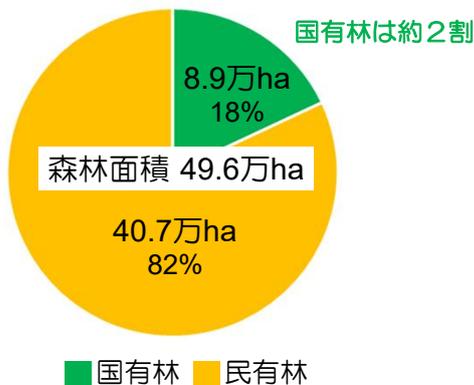
- ① 「レクリエーションの森」の活用の推進
- ② 国民参加の森林づくり、森林環境教育の推進
- ③ 国有林野事業の推進に関する情報受発信

1 公益重視の管理経営の一層の推進

① 重視すべき機能に応じた管理経営の推進

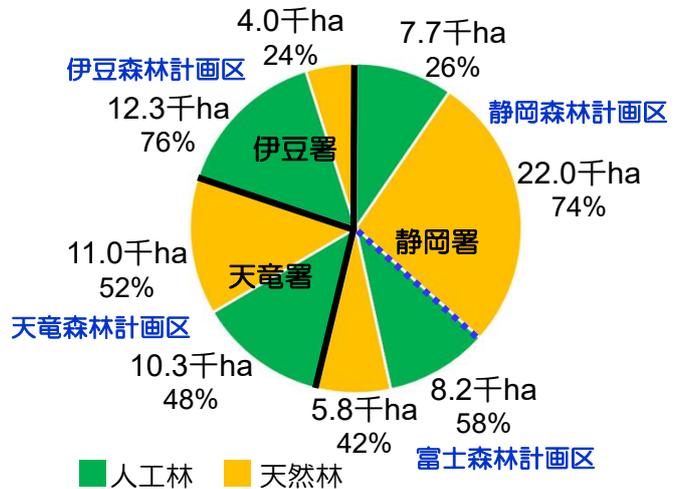
- 静岡県内の国有林は、県内の森林面積の約2割を占めています。また、人工林のうち利用期を迎えた50年生以上が7割を超えており、充実した森林資源を循環利用していくため、人工林の主伐・再造林（森林の若返り）を計画的に進めます。
- 県内の4森林計画区（静岡、富士、天竜、伊豆）において、5年ごとに10年を一期とする地域別の森林計画、5年ごとに5年を一期とする地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画を樹立・策定しています。計画の策定に当たっては、地域の皆様から御意見・御要望をいただきながら策定を進めます。
- 自然条件等を踏まえ、広葉樹林化など多様な森林づくりを進めます。

静岡県内の森林面積

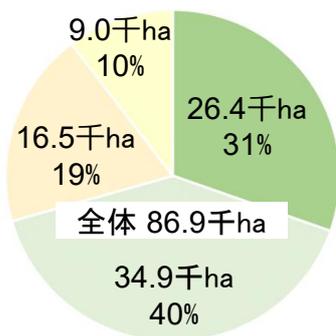


森林資源の現況（静岡県）
令和4年3月31日現在における森林資源の現況
※国有林面積は、林野庁所管以外の国有林を含む。

静岡県内の国有林面積（林野庁所管）



静岡県内の国有林野の機能類型



山地災害防止タイプは、災害に強い国土基盤を形成する観点から、山地災害防止及び土壌保全機能の発揮を第一とする森林



千頭山国有林（静岡署：川根本町）

水源涵養タイプは、良質な水の安全供給を確保する観点から、水源涵養機能の発揮を第一とする森林



白倉国有林（天竜署：浜松市）

森林空間利用タイプは、国民の皆様へ憩いと学びの場を提供したり、豊かな自然景観や歴史的風致を構成する観点から、保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とする森林



猫越岳火山湖（伊豆署：松崎町）

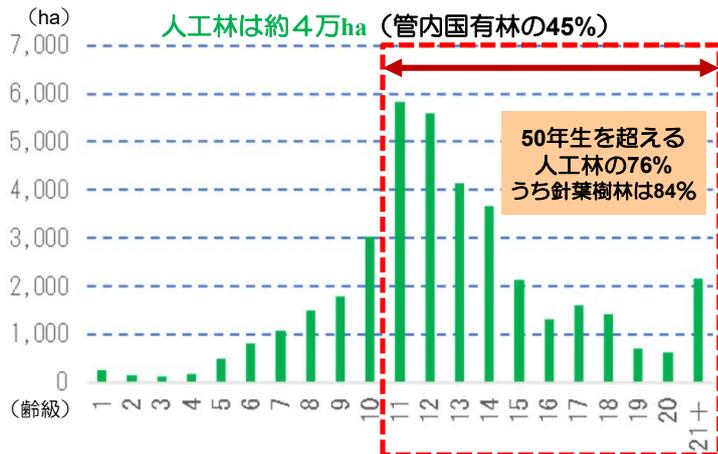
自然維持タイプは、生態系として森林の重要性を踏まえた観点から、原生的な森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林など、生物多様性保全機能の発揮を第一とする森林



大井川源流部原生自然環境保全地域（静岡署：川根本町）

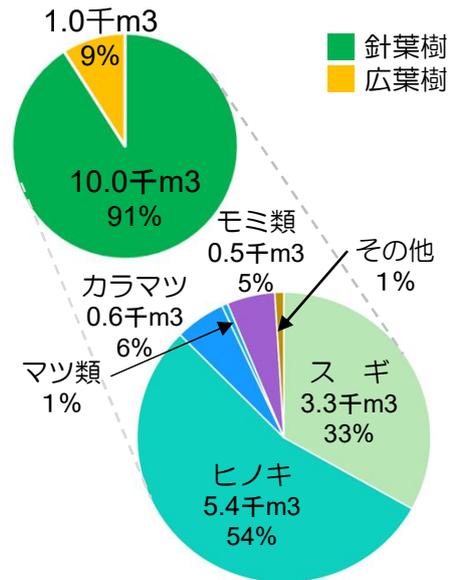
静岡県内の国有林資源

(人工林の齢級別面積)



注：年齢級（人工林）は、林齢を5年の幅でくくった単位。苗木を植栽した年を1年生として、1～5年生を「1年齢」と数える。

(人工林の樹種別材積)



人工林の主伐・再造林 (充実した森林資源の循環利用)

人工林の多くは利用期を迎えており、森林の整備に当たっては、充実した森林資源を積極的に活用しながら、計画的に再造成を行い、森林の有する多面的機能の発揮を図ることが重要となっております。これにより森林の若返りが図られます。

立木販売 (皆伐) 実績面積

森林管理署	令和5年度	令和6年度
静岡署	18ha	54ha
天竜署	8ha	12ha
伊豆署	0ha	3ha
総数	26ha	69ha

※販売年度と伐採年度は一致しません。

花粉対策苗の植栽、樹種転換による対策

静岡県における国有林野事業では、花粉の少ない森林への転換に取り組んでいます。スギ及びヒノキの苗木は、すべて花粉の少ない苗木(※)を導入しています。

※花粉の少ない苗木：無花粉苗木、少花粉苗木、低花粉苗木及び特定苗木を指します。



スギ特定苗木植栽地 (静岡署：島田市)

森林管理署	樹種	植栽予定本数
静岡署	スギ	23.2千本
	ヒノキ	27.7千本
	テグマツ	0.4千本
	広葉樹	2.0千本
天竜署	スギ	5.4千本
	ヒノキ	4.0千本
伊豆署	スギ	36.3千本
	ヒノキ	16.4千本
	広葉樹	1.4千本
総数	スギ	64.8千本
	ヒノキ	48.1千本
	テグマツ	0.4千本
	広葉樹	3.4千本
	計	113.0千本

※総数と内訳の数値の計が一致しないのは、単位未満の四捨五入によるものである。

② 国民の安全・安心の確保に向けた治山対策等の推進

- 近年、頻発する集中豪雨や地震等により山地災害の発生リスクが高まっていることに加え、静岡県内には、中央構造線等の影響を受け、もろく急峻な地形・地質の山地が多いことから、自然災害による被害の復旧や災害の防止・軽減を図るための治山事業を実施し、地域の人々の生活と安全を守ります。

令和7年度 治山工事実施予定 (県内で33箇所を予定)

森林管理署等	市町村	民有林	工種	予定数量
静岡署	静岡市	国有林	山腹工	0.09ha (1箇所)
			地すべり防止工	0.10ha (1箇所)
	富士市	国有林	溪間工	1.0基 (1箇所)
	御殿場市	国有林	溪間工	1.0基 (1箇所)
	小山町	民有林	溪間工	6.0基 (3箇所)
		国有林	山腹工	1.71ha (9箇所)
天竜署	浜松市	国有林	山腹工	0.14ha (1箇所)
			山腹工	1.5基 (2箇所)
伊豆署	河津町	国有林	山腹工	0.26ha (1箇所)
			山腹工	3.0基 (2箇所)
大井川 治山センター	静岡市	民有林	山腹工	0.20ha (2箇所)
			側壁工	2.0基 (1箇所)
			航空実播工	1.30ha (1箇所)
			山腹工	0.32ha (5箇所)
	川根本町	民有林	山腹工	0.32ha (5箇所)
県内合計		民有林	山腹工	2.23ha (16箇所)
			側壁工	2.0基 (1箇所)
			航空実播工	1.30ha (1箇所)
			山腹工	7.0基 (4箇所)
		国有林	山腹工	0.64ha (4箇所)
			山腹工	6.5基 (6箇所)
			地すべり防止工	0.10ha (1箇所)

静岡森林管理署 民有林直轄治山事業箇所

市町村	工事箇所	工種
小山町	綱山	山腹工
		山腹工
	角取山	山腹工
		山腹工
	大御神	山腹工
	奥の沢川	山腹工
山腹工		

大井川治山センター 民有林直轄治山事業箇所

市町村	工事箇所	工種
静岡市	外山沢	側壁工
	小河内	山腹工
	東河内	山腹工
	東河内(62崩)	航空実播工
	二軒小屋	山腹工
	東沢(木ノ薙)	山腹工
川根本町	東沢(77崩外、69崩)	山腹工
	東沢(2の沢、345崩)	山腹工
	東沢(北の沢)	山腹工

小山町での治山事業（民有林直轄治山事業）

小山町では、平成22年の大型台風により大規模な災害が発生しました。静岡県からの要請を受け、平成27年度から小山町内の民有林において民有林直轄治山事業を実施しています。令和7年度も隣接している国有林との復旧を一体的に実施します。



綱山地区



角取山地区



大御神地区



奥の沢川地区

掛川市南西郷地区での治山事業（国有林治山事業）

掛川市市街地から2kmほどに位置した南西郷国有林は、下流域に農業用貯水池が複数あるなど、地域の水源としての役割を果たしています。このため保安林に指定し管理してきたところですが、林内の床固工等（昭和57年度施工）が被災したことから、施設補修及び保護のため工事を実施しています。令和7年度も管内の国有林で計画的に復旧工事を実施します。



整備前



整備後

（天竜署：掛川市 南西郷地区）

河津川荻野入地区での治山事業（国有林治山事業）

令和4年4月の豪雨により河津町内の国有林において山腹崩壊が発生し、下流へ流出した土砂が農地へ被害を及ぼすなどの災害が発生したことから、令和5年度から治山工事を実施しています。引き続き令和7年度においても溪間工及び山腹工を実施します。



整備前



整備後

（伊豆署：河津町梨本 荻野入地区）

大井川治山センターによる治山事業（民有林直轄治山事業）

大井川上流域の地質は、糸魚川ー静岡構造線（フォッサマグナの西端）と中央構造線に挟まれた極めて脆弱な地質となっている上、気象的な要因から風化浸食が顕著で、全国屈指の荒廃地の多い地域となっています。静岡県からの要請を受け、民有林の大規模な崩壊地の復旧を図るため、国直轄で治山事業を実施する「大井川治山センター」が昭和41年に設置され、現在も各地区の復旧を実施しています。



静岡市井川湖上流地区 小河内（金沢）
巨石横護岸工・水制工



静岡市井川湖上流地区 小河内（大玉沢）
第3号コンクリート床固工



荒廃状況 H19（2007）



復旧状況 H29（2017）

川根本町榛原川地区 榛原川（ゴボウ薙）

森林土木工事における木材利用

治山・林道工事において、地球温暖化の防止にも貢献する木材利用の取組を推進します。例えば、コンクリート型枠は間伐材を使った残存丸太や合板とするほか、丸太筋工や木製法枠工等、また、工事看板や現場事務所等の仮設物についても木材を積極的に利用します。



木製法枠工
（静岡署：小山町）



丸太残存型枠工
（天竜署：浜松市）



丸太残存型枠工
（伊豆署：河津町）



木製現場事務所
（大井川治山センター
：川根本町）

③ 森林生態系の保護・管理

- 我が国の気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林や地域固有の生物群集を有する森林、希少な野生生物の生育・生息に必要な森林を「保護林」に設定しています。

保護林一覧

保護林の区分	対象	名称（森林管理署）
森林生態系保護地域 1箇所 3,248ha	我が国の気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林	南アルプス南部光岳（てかりだけ）（静岡・天竜）
生物群集保護林 2箇所 2,467ha	地域固有の生物群落を有する森林	愛鷹山（あしたかやま）、富士山（静岡） 八丁池・皮子平（はっちょういけ・かわこだいら）（伊豆）
希少個体群保護林 17箇所 517ha	希少な野生生物の生育・生息に必要な森林	安部峠オオイタヤメイゲツ、富士山塙塚（とやづか）ウラジロモミ、富士山六番ブナ（静岡） 浄蓮（じょうれん）ウラジロガシ・アカガシ、皮子沢モミ、長九郎シャクナゲ、寒天モミ、しらぬたの池モミ・スギ等（伊豆） 岩岳山（いわたけさん）アカヤシオ・シロヤシオ、瀬尻ホソバシャクナゲ、川上ツガ・ハリモミ、京丸山キョウマルシャクナゲ、観音山スギ・シブカワツツジ等（天竜）

太平洋側気候の影響を受けた落葉広葉樹林であり、アシタカツツジの群生地



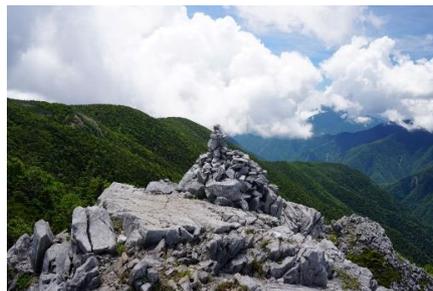
愛鷹山（静岡署：裾野市）

八丁池周辺及び皮子平周辺のブナ群落には多くのヒメシャラが生育しており、全国的にも希少なブナ群落



八丁池・皮子平（伊豆署：伊豆市）

モミ、スギ等の針葉樹とケヤキ等の広葉樹が混交する天然林で原生的な状態を保ち、しらぬたの池はモリアオガエルの生息地としても知られ、静岡県天然記念物「しらぬたの池とその周辺の生物相」に指定された地域



南アルプス南部光岳（静岡署：川根本町）

遠州地方の一部と愛知県の三河地方にのみ自生するホソバシャクナゲの群生地



瀬尻ホソバシャクナゲ（天竜署：浜松市）



しらぬたの池モミ・スギ（伊豆署：東伊豆町）

○ 森林の厳格な保護・管理を行うとともに、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施しています。

保護林等のモニタリング調査

国有林内に設置されている保護林及び緑の回廊の適切な保護・管理に資するため、5年間隔でモニタリング調査を実施しています。令和7年度は、伊豆森林管理署管内の保護林でモニタリング調査を実施します。



皮子沢モミ（伊豆署：伊豆市）



長九郎シャクナゲ（伊豆署：松崎町）



モニタリング調査等の実施状況

○ 森林管理における生物多様性保全の取組として、保護樹帯への影響の最小化、溪畔林等の保全、広葉樹、保残木、枯損木、樹洞木の保残により生物多様性が高い貴重な生態系の保全を行っています。

【事例：モザイク状の伐採、溪畔林保護樹帯の育成等】

静岡署の富士山国有林では、約500haのヒノキ人工林が伐採適期を迎えることから、次世代の森林の多様性を高めるため、以下のとおり林齢の異なる人工林への誘導や広葉樹の導入などを計画的に進めています。

- ・主伐、再造林をモザイク状に実施しています。
- ・人工林のヒノキの伐採後は、沢沿いの一部を現地固有の広葉樹に樹種転換するなど溪畔林保護樹帯を育成し、生物多様性の保全等の向上を図っています。



伐採時の保残木の状況（富士山国有林）



保残木の状況（富士山国有林）

2 森林・林業施策全体の推進への貢献

① 「新しい林業」を目指した取組の推進

- 伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換に向け、国有林を活用した実証・普及の取組を推進します。
- 特定苗木を用いた再造林による成長の旺盛な若い森林の造成を行っています。
- 高効率で生産性が高く、労働安全性が高い「列状間伐」やコンテナ苗の導入、下刈りの省力化など林業の低コスト化・省力化に向けた技術を積極的に導入します。

成長の優れた苗木の植栽

天竜森林管理署では、成長に優れ、下刈りの省力化が期待できるスギ特定苗木の植栽を令和2年（2020）年度に開始しました。その後、5年間にわたって成長量を調査し、下刈りの省力化に関する効果検証を行いました。この結果を踏まえ、令和5年（2023）年度からは、静岡県内の苗木生産者と連携し、県内の国有林で植栽するスギの全量を特定苗に転換しており、引き続き、特定苗木の効果の把握とこれを活用した森林の造成を行うことにしています。また、これら成果について民有林への展開に努めていきます。

※特定苗木：間伐等特措法に基づく成長が良く、花粉も少ない苗木。



天竜高校生職業探求による特定苗木の成長量調査（2年生）
（天竜署：浜松市）

早生樹を活用した「新しい林業」に関する取組

国有林では、昭和30年代に木材の増産を目的として、テーダマツ等の早生樹が各地で植栽されました。テーダマツは成長速度が非常に早く30年程度で伐採可能であり、シカ被害も受けにくいという特性を持っています。近年では合板に利用するための取組も進められています。

伐採から再造林・保育に至るまでの林業経営コストの低減に向けた取組の一つとして、テーダマツの伐採後の天然更新、獣害対策及び管理手法等の試験研究を進めています。

【テーダマツの現地検討会実施状況（天竜署：浜松市）】



育苗・育林について説明



天然更新について説明



コンテナサイズの検討

超緩効性肥料を用いたエリートツリー等コンテナ苗の活用

林野庁では、全国共通の技術開発の課題として、植栽後も効果を発揮する超緩効性肥料を用いた特定苗木の成長促進効果、植栽適地等の検証（令和7年度から令和12年度）を行うとともに、5年後の実用化を念頭に再生林の低コスト化の可能性について検証を行うこととしており、富士山国有林が試験地の一つに設定されています。令和7年度は、植栽した特定苗木の調査等を進めていきます。

令和6年度

試験地設定（区域設定、プロット設定、植付箇所明示）

令和7年度

植栽（試験地基礎調査を含む。）

調査（雑草木調査、下刈り調査、育成状況調査、林況写真撮影、ドローン空撮）



超緩効性肥料の散布状況

下刈り回数の見直し

植栽木と雑草木の競合状態を区分（C1～C4）分けて観察し、必要な場合のみ下刈りを実施し下刈り回数削減の取組を進めています。今後、現地踏査による把握からドローンを用いた植栽木と競合植生の状態の把握が可能か検討を行います。

【下刈り省略の判断基準（下刈りを計画する前年度の下刈実施前における造林木と雑草木の競合状態に次年度までの造林木の樹高成長を見込んで行う。）】

- ・造林木の梢端が雑草木に覆われないこと
- ・覆われたとしても、2年以上続けて覆われさせないこと

C1

樹冠が雑草木から半分以上露出

C2

樹冠の梢端が雑草木から露出

C3

樹冠と雑草木の高さが同じ

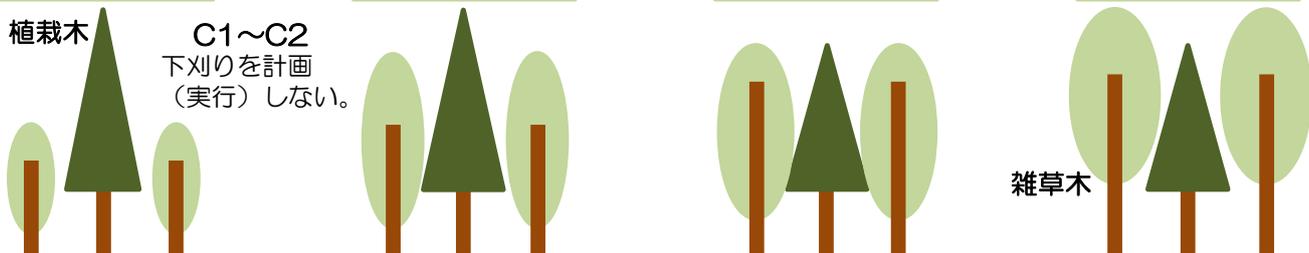
C4

樹冠が雑草木に完全に埋もれる

植栽木

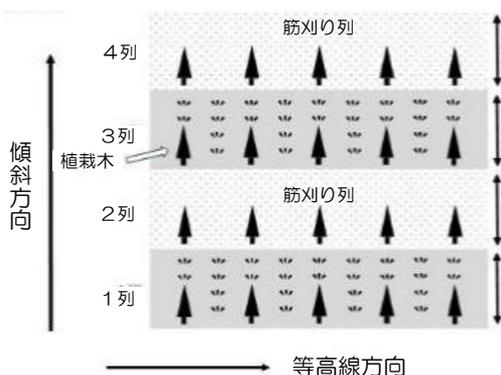
C1～C2
下刈りを計画
(実行)しない。

雑草木



下刈り作業の省力化

従来の下刈り（全刈り）は林地全体に対して下草をすべて刈払う方法により実施していますが、筋刈りは苗木と苗木に挟まれた部分を交互に刈払い、刈払い量を少なくすることで省力化を図る取組です。令和7年度においても引き続き実施し、効果等を検証していきます。



筋刈り実施風景

OWL（地上型3Dレーザースキャナ）の導入

- ・収穫調査（製品生産箇所）に活用。
- ・従来の輪尺、測竿（測高器を含む）の人力計測、人力集計から赤外線レーザーによる計測、パソコンソフトによる解析・集計ができることから、省力化が図られる。



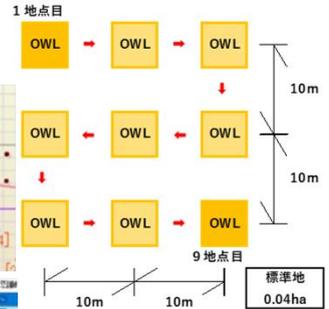
OWLによる
収穫調査風景



パソコンソフト
による
解析状況

測点番号	測物大目	葉高	樹種	樹高	傾斜	方位	傾斜	方位	傾斜	方位
001.0	木	1.5	杉	1.5	15	15	15	15	15	15
002.0	木	1.5	杉	1.5	15	15	15	15	15	15
003.0	木	1.5	杉	1.5	15	15	15	15	15	15

スキャン地点の決め方・順番
(横移動の一筆書きスキャン)



GNSS（衛星測位システム）の導入

【GNSS活用シーン】

- ・現場基準局、基準点測量、現況測量・杭探し、森林測量、境界巡検（確認、測量）など
- ・ポイント、トラックの記録で幅広く森林測量に活用できる。

【GNSS活用効果】

- ・測量線の刈払いを行わず、測量できることから省力化が図られる。



測量用
アンテナ
受信機

国土地理院 1級GNSS測量機



アンテナ
ポール



測量風景



測量結果

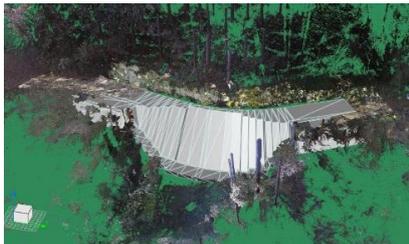
林道事業におけるICTの活用

【ICT活用内容】

- ・地上型レーザースキャナー（Leica BLK360G2）による3次元起工測量
- ・3次元設計データ作成（建設システム_SITEC 3D 2024）
- ・ICT建設機械（0.25m3BH_PC78US、杭北_LN-150）を活用した施工（進入路作設、床掘）

【ICT活用効果】

- ・3次元起工測量、マシンガイダンスによる床掘により施工（作業）時間の短縮が図られる。
- ・丁張の設置手間の省力化、床掘時の変化地点及び堀勾配の確認手間の省力化が図られる。
- ・作業員（測量班）の安全確保が図られ、作業員配置の省力化が図られる。



3次元起工測量による床掘イメージ



杭北 LN-150を活用した床掘



床掘完了状況

静岡県内の森林管理署における二ホンジカ対策

富士、天竜、伊豆地域等の各地において、二ホンジカの食害による植林木の成長阻害や枯死、下層植生の衰退等の森林被害が深刻化しています。このため、国有林ではシカの侵入を防ぐ柵の設置や個体数管理（捕獲）を県や市町、関係団体等と連携して推進しています。

		静岡署	天竜署	伊豆署
捕獲		<ul style="list-style-type: none"> ・くくり罠（委託と職員実行） ・忍び猟（委託） ・委託事業を富士山国有林で実施 ・職員実行を富士山・大代国有林で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・くくり罠（委託と職員実行） ・委託事業を引佐地区及び只木地区の国有林において実施 ・職員実行を瀬尻国有林で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・くくり罠（委託と職員実行） ・天城山域の国有林で実施
防除 (注1)	面的	<ul style="list-style-type: none"> ・金属柵 ・硬質ステンレス入りネット柵 ・枝条柵 	<ul style="list-style-type: none"> ・硬質ステンレス入り縦張りネット柵（天竜の急峻な地形に即していると判断） 	<ul style="list-style-type: none"> ・金属柵 ・硬質ステンレス入りネット柵
主な取組		<ul style="list-style-type: none"> ・硬質ステンレス入りネット柵の導入 ・防護柵の種類別の効果、コストを比較 ・金属柵の低コスト化（支柱間隔の拡大） ・ICT・UAVを活用した防護柵見回りの省力化 ・立木を利用した防護柵 ・センサーカメラ（4G）を用いた効率的で安全な捕獲の実施 ・シカが低密度化してきた区域での柵外植付の検証 ・捕獲個体残渣減容化処理容器の使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・硬質ステンレス入りのネット柵の活用 ・罠い罠での捕獲の実証 ・小面積での柵外植付の検証 ・シカ柵点検・補修調査シートを使用したコストの可視化 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動感知システム（LPWA）を活用した見回りの効率化 ・防護柵の種類別の効果、コストを比較 ・金属柵の低コスト化（支柱間隔の拡大、素材の軽量化） ・立木を利用した防護柵 ・新たな捕獲手法（小林式・竹内式）の普及・啓発 ・瞬間サンプリング法によるシカの生息状況の調査

注1：静岡署では、単木でのチューブラー（植栽木の保護）やパークガード（樹皮剥ぎの防止）による防除も実施しています。

捕獲後の処理の効率化に向けた取組

捕獲個体の処理の効率化等のため、「捕獲個体残渣減容化処理容器」を富士山国有林内に設置し、減容等の効果を検証しています。

従来の集合理設よりも、発酵補助剤の投入により早く分解され、減容化により多くの個体処理が可能となるほか、蓋の設置によりクマ等の鳥獣類による残渣（ざんざ）持ち取り防止、周辺への臭気低減等の効果も期待されています。



情報通信技術を活用した効率的な捕獲の実施

ICT技術（自動感知システム【LPWA：低消費電力広域通信】）を活用した見回りの負担軽減・止め刺し道具の事前準備・わな設置個所に人が立ち入る頻度を減らし、人の痕跡を残さない等の捕獲作業従事者の負担軽減・効率化・捕獲率向上の取組を行っています。



自動感知システム設置
(伊豆署：西伊豆町)



PC上の表示画面

瞬間サンプリング法 (Instantaneous Sampling) によるシカの生息状況の調査

ニホンジカ捕獲の効果を知るためには、その地域でのシカの生息状況(密度)をリアルタイムで把握することが必要となります。このため、「ニホンジカ被害対策に係る協定」に基づき森林総合研究所と連携して、「瞬間サンプリング(IS)法(※)」によるシカの生息状況の調査に取り組みます。

※瞬間サンプリング法 一定の区域に仕掛けた複数のカメラにより一定間隔で撮影を行い、撮影されたシカの頭数と面積から生息密度を推計する方法
瞬間サンプリング法(IS)法によるシカ生息密度の調査マニュアル
<https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/policy/business/hogozigyoku/naragare.html>



カメラ等設置状況(瞬間サンプリング法)
(伊豆署:伊豆市)

ノウサギ被害防除のための防護柵設置の取組

新植地において、シカ柵の網目のすき間からノウサギが侵入し植栽した苗木が食べられるといった被害が顕在化していることから、ノウサギ対策としてノウサギ用防護ネットを設置しています。また、センサーカメラにより生息状況を確認し、職員実行によるノウサギ捕獲を試行的に実施しています。



センサーカメラで撮影されたノウサギ



センサーカメラで撮影されたノウサギ



箱わなの設置状況

ノネズミ害に対する取組

新植地において、剥皮により苗木が枯死する被害が発生しています。ノネズミによる被害と判明したことから、予察を実施し、生息状況の把握を行うとともに、殺鼠剤(リン化亜鉛1%)散布による対策を実施しています。



予察ワナの設置状況



ノネズミの予察捕獲



殺鼠剤(小袋入り5g)

森林病虫害に対する取組

全国的にナラ枯れ被害が発生する中、県内の国有林におけるナラ枯れ被害の防止のため、関係機関と連携し、地域が一体となった対策に継続して取り組みます。

一部被災地において、ナラ枯れの伐倒整理に取り組みます。

林野巡視やナラ枯れ被害調査強化月間のパトロール等により枯損状況を目視調査、経過観察を実施するとともに、情報の共有にも取り組みます。



ナラ枯れが発生した林分



伐倒整理状況

② 木材の安定供給

○ 木材を計画的・安定的に供給することにより、地域の林業・木材産業の活性化に貢献します。

立木販売（公売）

立木販売（公売）の予定や結果をホームページ上で公表し、地域における取引価格形成に寄与します。

森林管理署	令和6年度実績	令和7年度予定
静岡署	26,602m ³	35,731m ³
天竜署	6,427m ³	94,209m ³
伊豆署	1,957m ³	90,825m ³
計	34,986m ³	220,765m ³



伐採状況（静岡署：御殿場市）

生産事業・製品販売

国産材の需要拡大等に取り組む製材工場等とシステム販売協定を締結し、当該協定者に対する安定的・計画的な素材の供給に取り組めます。

森林管理署	件数	実施箇所
静岡署	5	深沢地区、大洞山地区、大代地区、上井出地区、桑木地区
天竜署	2	瀬尻地区、大知波地区
伊豆署	4	池代地区、筏場地区、白川地区、白田地区

森林管理署	令和6年度実績		令和7年度予定	
	素材生産量（m ³ ）	うちシステム販売量	素材生産量（m ³ ）	うちシステム販売量
静岡署	6,827	※1 8,395	12,645	8,200
天竜署	6,136	3,117	11,000	2,700
伊豆署	7,129	4,414	13,000	9,600
計	20,092	15,926	36,645	20,500

※1 素材生産量は該当年度に生産した数量となり、素材システム販売量は、前年からの越材（1,653m³）を含めた販売量となります。



生産事業（伊豆署：松崎町）



山土場（静岡署：富士宮市）

③ 民有林との一体的な森林整備の推進

- 国有林と民有林が連携することで事業の効率化や低コスト化等を図ることができる地域において、「森林共同施業団地」を設定しています。これにより、路網の相互利用や国有林材と民有林材の協調出荷等が図られ、民有林のコストの縮減や安定的な収入確保につながることを期待できます。

森林整備推進協定（森林共同施業団地の設定）

協定名	協定期間	協定者	協定内容
富士山西麓地域森林整備推進協定	R3.4.1～R8.3.31 (5年間) 第2期	<ul style="list-style-type: none"> ・富士宮市 ・上井出財産区 ・富士農林事務所 ・日本製紙（株） ・静岡森林管理署 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観に配慮した間伐の実施 ・林地残材や未利用材の山土場での販売（システム販売：製紙用チップ等）の促進等 ・シカ等野生動物被害対策などの森林の整備、保全等
小山町森林整備推進協定	R3.4.1～R8.3.31 (5年間) 第2期	<ul style="list-style-type: none"> ・小山町 ・東部農林事務所 ・静岡森林管理署 	<ul style="list-style-type: none"> ・路網整備等による安定供給体制の確立 ・長伐期化、シカ等野生動物被害対策などの森林の整備、保全等
黒俣地域森林整備推進協定	R6.4.1～R11.3.31 (5年間) 第3期	<ul style="list-style-type: none"> ・掛川市 ・掛川市森林組合 ・天竜森林管理署 	<ul style="list-style-type: none"> ・路網の連結による搬出コスト等の縮減 ・掛川市森林組合の土場を中間土場として利用
伊豆地域森林整備推進協定	R4.4.1～R9.3.31 (5年間) 第4期	<ul style="list-style-type: none"> ・賀茂農林事務所 ・森林整備センター静岡 ・水源林整備事務所 ・いなすさ林業 ・伊豆森林管理署 	<ul style="list-style-type: none"> ・民国双方のフィールドを活用した技術開発、実証 ・民国連携した鳥獣被害対策の実施等



富士山西麓地域におけるストックヤード（上井出集積土場）
（静岡署：富士宮市）



黒俣地域における国有林内に作設されたストックヤード
（天竜署：掛川市）



小山町における民有地での林道改良工事
（静岡署：小山町）



伊豆地域における国有林林業専用道から延長された民有林作業道
（伊豆署：松崎町）

3 「国民の森林」^{もり}としての管理経営

① 「レクリエーションの森」の活用の推進

- 川根本町の「飛竜橋自然観察教育林」、「千石平風致探勝林」、浜松市浜名区の「奥浜名自然休養林」が「日本美しの森お薦め国有林」^{にっぽんつつく}となっています。
- これらの地域は特に魅力的な自然景観を有していることから、観光資源としての魅力の情報発信や修景伐採などを行い、地域振興への貢献に努めています。

レクリエーションの森の整備

レク森の種類	名称
自然休養林 3箇所 3,977ha	富士山（静岡署）、奥浜名（天竜署）、昭和の森・天城山（伊豆署）
森林スポーツ林 1箇所 33ha	観音山（天竜署）
自然観察教育林 2箇所 294ha	飛竜橋（静岡署）、小笠山（天竜署）
風致探勝林 1箇所 265ha	千石平（静岡署）

奥浜名自然休養林 林野庁HP【日本美しの森 お薦め国有林】
https://www.rinya.maff.go.jp/i/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/okuhamana.html

飛竜橋自然観察教育林及び千石平風致探勝林 林野庁HP【「日本美しの森 お薦め国有林」の魅力あふれる映像】
https://www.rinya.maff.go.jp/i/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/190823.html



奥浜名自然休養林 富幕山山頂
（天竜署：浜松市）



小笠山自然観察教育林での観察会
（天竜署：掛川市）



飛竜橋自然観察教育林 夢の吊り橋
（静岡署：川根本町）



千石平風致探勝林
（静岡署：川根本町）

② 国民参加の森林づくり、森林環境教育の推進

- 国有林を森林づくりのフィールドとして提供し、国民の皆様による森林づくり活動や森林環境教育を推進します。

国民参加の森林づくり

企業や市民団体等の多くの方々により、国有林をフィールドとした森林づくりや森林環境教育等が行われています。



社会貢献の森（明日への森）
（天竜署：湖西市）



遊々の森（サルワタリの森）
（天竜署：浜松市）

森林環境教育の推進

森林教室や森林内での体験活動等を通じて、森林・林業や国有林野事業への理解が深まるよう、森林環境教育の機会を子供たちをはじめ広く国民の皆様提供する取組を進めています。



奥大井ふるさと祭り
（大井川治山センター：川根本町）



浜松市花と緑の祭典での木工品作り
（天竜署：浜松市）

③ 国有林野事業の推進に関する 情報受発信

- 地元自治体との会議、業務打合せ、現地検討会等の機会、またホームページ等を通じて、国有林野事業の取組に関する情報の発信・共有を行っています。
- 一方、会議等様々な機会を通じて寄せられた「現場の声」を受けとめながら、国有林の管理経営に反映していきます。



早生樹（テーダマツ等）を活用した
新しい林業に関する現地検討会
（静岡県、浜松市等、林業事業者、静岡署等、天竜署）



リスクアセスメント講習会
（静岡県、浜松市等、林業事業者、天竜署）



掛川市森林経営管理推進協議会
（掛川市、林業事業者、天竜署）

○ 令和7年度静岡県内国有林の主要事業量

森林管理署名	市町名	伐採量 (m ³) ※立木販売			素材生産量 (m ³)	造林 (ha)			林業専用道新設 (m)
		合計	うち主伐	うち間伐		植付	下刈り	保育間伐	
静岡	静岡市								
	沼津市						4.77	0.58	
	富士宮市				7,360	8.75	18.95	91.11	118
	島田市	14,950	14,950		1,690	0.18	14.84	13.35	
	富士市						31.65		
	御殿場市	2,071	2,071		1,620	6.38	12.76	18.91	
	裾野市						4.65		
	長泉町						3.74		
	小山町	527		527	1,975		18.40	16.67	
	川根本町	18,183	18,183				1.59		
	小計	35,731	35,204	527	12,645	15.31	111.35	140.62	118
天竜	浜松市	90,636	90,636		11,000	4.40	35.94	91.20	
	湖西市	3,573	3,573						
	掛川市						0.24		
	袋井市								
	森町								
	小計	94,209	94,209		11,000	4.40	36.18	91.20	
伊豆	伊豆市	22,228	22,228		2,900	18.77	9.07	7.41	120
	熱海市	3,843	3,843						
	河津町	64,754	64,754		1,035	4.00	7.24	8.94	
	松崎町				5,400		0.59	47.59	
	東伊豆町				3,665		2.25	9.04	
	西伊豆町								
	小計	90,825	90,825		13,000	22.77	19.15	72.98	120
計		220,765	220,238	527	36,645	42.48	166.68	304.80	238

注：事業量には令和6年度補正・繰越し分を含む。
 伐採量については、分収育林、分収造林、官行造林地の伐採量を含む。
 植付けには補植等を含む。
 保育間伐には治山費による本数調整伐を含む。

○ 静岡県内の国有林の森林

署名	管内の国有林面積 (ha)			人工林率 (%)	国有林所在市町
	合計	うち人工林	うち天然林等		
静岡	46,565	15,900	30,665	34	静岡市・沼津市・富士宮市・島田市・富士市 御殿場市・裾野市・長泉町・小山町・川根本町
天竜	22,558	10,339	12,220	46	浜松市・掛川市・袋井市・湖西市・森町
伊豆	17,357	12,285	5,072	71	熱海市・伊東市・下田市・伊豆市・伊豆の国市 東伊豆町・河津町・南伊豆町・松崎町・西伊豆町
計	86,480	38,523	47,957	45	

注：他省庁所管森林を除き、官行造林地含む面積。天然林等には無立木地を含む。地域別の森林計画書より。

(参考) 静岡県の森林面積

森林面積 (ha)			国有林率 (%)		
民有林	国有林	計			
406,982	89,334	496,316	18		
うち人工林面積 (ha)			人工林率 (%)		
民有林	国有林	計	民有林	国有林	計
239,467	38,802	278,269	59	43	56

注：国有林は他省庁所管森林を含む面積。林野庁「森林資源の現況【令和4年3月31日現在】」より。

○ 森林管理署等の所在地及び連絡先

管理署等名	所在地	連絡先
静岡森林管理署	〒 420-0856 静岡市葵区駿府町1-120	TEL : 054-254-3401 (IP) 050-3160-6015 E-mail : ks_shizuoka_postmaster@maff.go.jp http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/sizuoka/index.html
天竜森林管理署	〒 434-0012 浜松市浜名区中瀬2663-1	TEL : 053-588-5591 (IP) 050-3160-5670 E-mail : ks_tenryuu_postmaster@maff.go.jp http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/tenryu/index.html
伊豆森林管理署	〒 410-2401 伊豆市牧之郷546-5	TEL : 0558-74-2522 (IP) 050-3160-6020 E-mail : ks_izu_postmaster@maff.go.jp http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/izu/index.html
大井川 治山センター	〒 428-0411 榛原郡川根本町千頭950-2	TEL : 0547-59-3344 (IP) 050-3160-6035 E-mail : ks_ooigawa_postmaster@maff.go.jp http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/tisan/index.html